

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択結果等について

採択地区名	豊田
-------	----

種 目	発行者	採 択 理 由
国語	東書	東京書籍は、各単元の学習活動の手順を示した「手引き」等において、学習の見通しと振り返りをより明確にしており、生徒が国語の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学べるように配慮されている。また、読書活動についても、おすすめの本の紹介に加えて、読書会といった活動や識者のコラムを掲載する等、生徒が主体的に読書活動に向かうよう工夫されている。また、話し合い等を扱う単元において、発揮される言葉の力が明記されるとともに、テーマの例、想定される意見の例等が豊富に掲載されており、生徒の言語活動の充実に資するよう工夫されている。さらに、各教材の冒頭において、吹き出しでわかりやすい課題を示し、教材の末尾の振り返りで自分の言葉でまとめさせる等、生徒の単元に対する興味・関心を高め、主体的・対話的で深い学びを促す点で優れている。
書写	光村	光村図書は、行書に調和する仮名の特徴が理解できるよう、仮名の形を図形で囲むことで分かりやすく示す等、行書を学ぶ意義を生徒に気付かせる工夫がある。また、巻頭の「別冊書写ブック」を取り外して硬筆の学習に活用することができ、知識や技術の定着に関する工夫がある。さらに、巻頭に「中学書写スタートブック」を配置し、書写の基礎・基本を分かりやすく示しながら、学習の進め方やタブレットの活用の仕方について掲載しており、生徒の書写に対する興味・関心を深め、主体的・対話的で深い学びを促す点で優れている。
社会 (地理的分野)	東書	東京書籍は、社会科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫として、学習したことを振り返り、まとめる活動が設定されている。また、1単位時間は、見開き2ページとし、すべての見開きページに学習した内容を復習する項目があり、知識及び技能の定着を図り、理解を深める工夫をしている。「チェック」と「トライ」という見出しがあり、学習した内容を振り返るだけでなく、学習内容を活用して考察したり、表現したりする活動があり、基礎的・基本的な内容を確実に定着させる工夫がされている。「スキルアップ」や「もっと知りたい」など補足説明もある。まとめを行う活動では、自らの考えを整理したり、表現したりすることができるように小グループで活動するコーナーや、「見方・考え方」を働かせて探究課題に答える活動があるなど、作業的、体験的な学習が豊富に掲載されている。
社会 (歴史的分野)	東書	東京書籍は、1単位時間の学習課題として「どのような」「なぜ」等の問いかけを記載し、その時間の到達すべき目標を分かりやすく明示する工夫がされている。また、各単元の導入についても、絵画や年表等を用いてこれから学習する単元の興味・関心を高める工夫がされている。単元構成において、三段階の問いを設定することで、無理なく課題解決に向けた学習を進めることが可能で、様々な思考ツールを活用し、学びを深める活動や話し合い等、対話的な活動も設定している。さらに、毎時間デジタルコンテンツを掲載しているので、学校や家庭での多様な学びに対応することも可能である。課題解決的な単元構成における問いが充実しており、主体的、対話的で深い学びを実現させるための多様な活動が設定されている。

種 目	発行者	採 択 理 由
社会 (公民的分野)	東書	東京書籍は、1単位時間見開き2ページとし、追究する知識及び技能の習得を図る工夫がされている。また、節末・章末などに文書表現等を用い、単元を貫く問いをまとめる活動が設定されている。さらに、公民としての基礎的教養を培うために、現代社会を捉える見方や考え方も示している。興味・関心を喚起する導入資料、何について学習するのが分かる「学習課題」、学習内容を整理し、自分の言葉でまとめる「チェック」、「トライ」で構成されており、知識の確実な定着を図る工夫がされている。教科・分野関連マークを配置し、他教科や他分野との関連や既習事項との関連が図られている。小單元ごとに「探究のステップ」を設定し、それらを章末で整理・分析することで、項目のねらいの達成や主体的に取り組むことのできる学習活動を設定するなどの工夫がみられる。
地図	帝国	帝国書院は、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための工夫、「見方・考え方」を働かせながら探究的に学ぶための工夫がされているとともに、問題解決的な学習を展開するための工夫や他分野での学習や現代の諸課題に関連する学習にも活用できるよう工夫されている。また、特別支援教育に係る配慮やユニバーサルデザインの取組がされている。全編を通して地形が捉えやすいように、等高段彩表現に陰影表現を合わせた立体感のある地図表現になっている。また、世界地図に、同緯度・同縮尺の日本地図が掲載されており、日本との比較ができるよう工夫されている。さらに、地図読解のための統計資料や図版資料等に加え、二次元コードを掲載し、学習を深める動画へのリンクや地域別資料等のコンテンツが閲覧できるとともに、地図活用等の地図読解の着眼点の掲載もある。日本の基本図・拡大図・都市圏図・都市図に各地の伝統的工芸品や、世界文化遺産が掲載されており、伝統や文化に関する学習に役立つ。
数学	東書	基礎的・基本的な知識や技能を習得させるために、生徒に分かりやすい丁寧な手立てが示されている。日常生活や他教科との関連、さらに、社会における今日的課題との関連も図り、数学での学習が、社会生活と深く結びついているという考え方を育成しようとする意識が高い。すべての領域において、QRコードで読み込むデジタル教材を備えており、導き出せる公式等を動画やシュミレーションで視覚的に分かりやすく解説してくれる。また、フラッシュ演算による反復練習や、発展的な問題等幅広く充実させ、個別最適な学びに対応できる。さらに、学習に困難さを抱えた生徒に対する支援も充実している。
理科	啓林館	巻末に基本事項の「レビュー」があり、単元末には「学習のまとめ」で参考書的なまとめが掲載されている。「トライ」で身近な現象に関わる課題を明記し、学習後に「リトライ」で振り返るようにしている。はじめに「つながる学び」で既習内容を振り返らせ、「深めるラボ」「アクション」で発展的な内容を掲載している。全学年2分野→1分野の配列でシラバスとは異なる部分がある。画像や挿し絵が多く掲載されている。漢字には適切にルビが振られている。「探Q実験」では科学的用語を使った表現例を示している。

種 目	発行者	採 択 理 由
音楽 (一般)	教芸	教育芸術社は、「音楽的な見方・考え方」を働かせる際の視点となる「音楽を形づくっている要素」をわかりやすく提示する等、知識の定着を図り理解を深めるための工夫が見られるほか、創作においても生徒個々が容易に創作を行い、クラス全体でも共有が可能なツールが用意されるなど、主体的かつ協働的に学習に取り組む工夫がされている。また、「生活や社会の中の音や音楽」が全学年で掲載されており、生活や社会における音や音楽の働き、音楽文化についての関心や理解を深めていくための工夫が見られる。他社の教科書と比べ、生徒と教師が学習の視点を共有しながら授業を展開しやすく、また社会の中の音や音楽との関わりを学びやすい工夫がされている。さらに、二次元コードによる指導に効果的なデジタルコンテンツが用意されており、生徒が個別に学習を深めたり、他者と協働して課題解決に取り組んだりするなど、主体的で多様な音楽の学習を展開できる可能性がある。
音楽 (器楽合奏)	教出	教育出版は、各楽器の構造・種類・奏法・構え方・運指などが的確に提示されている。また「表現の仕方を調べてみよう」、「吹く楽器の仲間たち」、「弾く楽器の仲間たち」において、楽器を比較しながら、演奏や楽器の構造や音色などについて探究的に学習することができるよう工夫がされている。さらに、リコーダーなどの楽器演奏では、生徒の興味・関心を引き出す身近で演奏しやすい楽曲を数多く取り扱っている。楽器を「吹く楽器」、「弾く楽器」、「打楽器」のまとまりで示し、我が国や諸外国の楽器や音楽文化を比較しながら理解できるような工夫も見られる。主体的・対話的で深い学びの実現を図ることや、そのために「音楽的な見方・考え方」を働かせ、他者と協働しながら、思考・判断・表現する一連の過程を大切にしたい学習の充実を図ることが求められる中、生徒に身近な楽曲も含め、より多く楽曲を扱うことで生徒の主体性を引き出し、多様な活動を行うことが可能であると考え。また、合奏のみならず、演奏や楽器の構造や音色、我が国や諸外国の楽器や音楽文化などについて、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら整理したり、交流して共有したりする場がより多く設定されており、他者と協働しながら、思考、判断、表現する学習を充実することが期待できる。さらに、ギターのコード表に運指が写真で掲載されるなど、表現・表記がより演奏法を理解しやすいものとなっており、知識や技能の定着が図りやすい点で優位である。
美術	光村	見開き1ページに学習のテーマや目標、ポイントが具体的に示され、学習内容が一目で理解できる。鑑賞や観察から表現へと自然に意欲を高める工夫がされている。生徒作品や作者の言葉等が掲載されており、作品制作のアイデアや手掛かりになりやすい。様々な作品がバランスよく配列されており、造形への興味関心を養う工夫がされている。高精細画像、解説動画、音声ナビ、360°写真、技法の動画等、学習者を支援するデジタルコンテンツが豊富である。道徳科等の他教科とのつながりが示されており、教科横断的な指導が可能である。また、SDGsの17の目標と関連が示されており、今日的課題への配慮が見られる。身近な生活や伝統文化の中に生かされている造形作品などが掲載されており、美術と暮らしや文化との深いつながりが理解できるよう工夫されている。総合的に教科書に様々な手がかりが示され、学習者が積極的に活用できるよう工夫されている。

種 目	発行者	採 択 理 由
保健体育	大修館	全ての内容項目を見開き1単位時間の構成としており、使いやすい。また、学習指導要領に示されている体育理論9項目、保健分野48項目で配列が工夫されている。各章の最後に「章のまとめ」があり、○×問題や選択式問題、穴埋め問題、記述式問題等様々な出題方式で知識及び技能の定着を図る工夫がされている。意見を出し合ったり、グループで話し合ったりする場面が設定されており、協働的な学びを意識している。
技術・家庭 (技術分野)	東書	「テックラボ」で基礎的な知識や技能について、画像や図でまとめて掲載している。単元末に「学習のまとめ」（基本用語の確認・確かめ問題）を掲載している。各単元に「問題の発見と課題の設定」「解決策の構想」「制作」「問題解決の評価、改善」という流れが設定されている。日本の伝統的な建築物の紹介や、最新技術とリンクする内容も紹介されており、多くの図や挿し絵、画像などが適切に配置されている。また、キャラクターの言葉が吹き出しで示され、分かりやすい。単元未来のテクノロジー」で、専門用語を用いて、文章で学習内容を整理するようになっている。
技術・家庭 (家庭分野)	東書	各章の初めには、家庭分野の見方・考え方をマークで示し、大きな写真やキャラクターの吹き出しを用いて問題発見・課題設定のヒントとしている。そして、「学習のまとめ」「生活の課題の実践」では、学習したことを生活と結びつけるというように、問題発見・解決学習が各章で一つの流れで行われるように構成されている。各節についても、「目標」「レッツスタート」「学習課題」「本文、図版」「活動」「まとめの活動」の流れで統一され、学習活動に見通しを持って臨むことができる。このように、構成が統一されており分かりやすい。QRコンテンツが充実しており、献立作成や思考ツール、基礎技能に関わる動画等があり、個別最適な学び、協働的な学びなど多様な学びに対応できる。実習例を豊富に掲載し、多様な実習例から選択することもできる。また、QRコンテンツの活用も併せて活用することにより、家庭での実践も促すことができる。
英語	三省堂	1年生当初には、小学校での学習とリンクさせた平易な内容が取り上げられ、中学校への学習へのスムーズな移行がされるように工夫されている。小単元のゴールアクティビティー（ゴールの活動）に向けて、パート1からパート3まで段階的に構成されており、聞く、読む、話す、書くなどの内容がバランスよく配列されている。パートごとが見開き1ページにまとめられており、学習内容が見通せるように工夫されている。また、各パートでの目標が最初に示され、会話等の場面設定、本文のキーセンテツや単語、活動がイラストや記号などで分かりやすく表示されている。理解を助けるデジタルコンテンツも豊富である。基本的な文法事項のまとめのページや巻末の資料、セルフスタディなどの主体的な学びの支援、テイクアクションなどの日常生活での英語の活用など、基本的な内容から主体的な学びまで学習者を支援する工夫がされている。総合的に、「話す、聞く、読む、書く」などの活動が、バランスよく学習内容に配列されており、基礎基本を押さえながら、主体的に学習できるように工夫された教科書である。

種 目	発行者	採 択 理 由
道徳	東書	1年間の学習の流れとして、物事を多面的・多角的に考えられるよう、読み物教材だけでなく、漫画やグラフなど様々な形の教材が使用されている。一時間の流れとして、全教材に学習のテーマを設定し、教材末の発問と呼応させることで、教材全体を通して道徳的価値に迫ることができる。定番教材の充実、小学校の教材にもう一度出合わせる、学年間連携教材を設ける等、中学校三年間を通して、様々なテーマに出会いながら、考えを広げ、深められる。また、教材と関連したコラムも充実しており、考えを深めたり広げたりするきっかけをもたせている。QRコードがすべての教材についており、朗読音声を聞くことができる。速度調節機能がついているため、教材の読み取りが困難となっている生徒の支援につながる。